

指定棚田地域振興活動計画

作成主体の名称：Mizusawa Rice Terrace Conference

1 指定棚田地域振興活動を通じて保全を図る棚田等に関する事項(棚田等の名称及び範囲)

【水沢村】

伊達棚田、鋏柄沢棚田、漆島棚田、水沢・馬場棚田、大石棚田、当間棚田、野中棚田、池沢棚田

【貝野村】

安養寺棚田、姿棚田

範囲については、別添1のとおり。

2 指定棚田地域振興活動の目標

(1) 棚田等の保全

① 耕作放棄の防止・削減

- ・令和7年まで各棚田における保全面積の現状(198ha)を維持する。

② 担い手の確保

- ・令和7年までに大石棚田、当間棚田、野中棚田、池沢棚田の保全に取り組む外部人材の人数を10人に増加させる。

(2) 棚田を核とした棚田地域の振興

① 棚田における都市農村交流を通じた関係人口の創出・拡大による地域振興

- ・令和6年までに棚田を活用するゲストハウスを2軒稼働する。
- ・令和6年までに他拠点居住者を新たに5人増加させる。
- ・令和5年までにテレワーカーを中心とした来訪者と集落の人が交流をしながら、通年で棚田の保全活動に参加する仕組みを構築する。
- ・テレワーカーが令和6年までに延べ250人宿泊している。
- ・大石棚田、当間棚田、野中棚田、池沢棚田で棚田とその周辺環境を活用したイベント(棚田フェスや棚田ラグビー、農業体験)や旅行企画の取り組みを新たに年間2回開催し、年間100人の参加者を確保する。

② 棚田を観光資源とした地域振興

- ・令和6年までに棚田に関する各種の体験プログラムを実施。現在は年間延べ10人程度、売上高5万円程度だが、年間延べで1,000人に利用され、売上高500万円を目指す。

③ 棚田米等を活用した6次産業化の推進

- ・令和6年までに棚田米や棚田周辺で採れる山菜を原料とした素材で作られた2商品を開発し、市場で販売する。

3 計画期間

認定の月～令和7年3月

4 各年度において行う指定棚田地域振興活動の内容及び実施主体に関する事項

(1) 指定棚田地域振興活動の内容

以下の指定棚田地域振興活動について、別添2の工程表に基づき実施することとする。

① 棚田等の保全

ア 耕作放棄の防止・削減

- ・各棚田において保全面積の現状を維持するために、生産組合や農業者と連携して保全活動を継続すると同時に、外部人材を棚田を活用したイベントなどで流入させつつ、農作物の生産以外の付加価値を作っていく。

イ 担い手の確保

- ・地域おこし協力隊や集落支援員制度等を活用しながら、外部からの新たな担い手を確保し、地域内での交渉やイベント、様々な実務作業を行う。

② 棚田を核とした棚田地域の振興

ア 棚田における都市交流を通じた関係人口の創出・拡大による地域振興

- ・大石棚田、当間棚田、野中棚田、池沢棚田で、2軒の空き家を改修し、地域おこし協力隊や集落支援員制度等を活用して集落住民と協働する。
- ・テレワークを推進している法人の福利厚生、企業版ふるさと納税などを活用して継続的な交流を生みつつ、地域内の水沢商工会や水沢地区振興会と連携し、組織同士の繋がりも作り出していく。
- ・多拠点生活プラットフォームやシェアリングエコノミーを推進する組織を活用し、テレワーカーが利用しやすい環境、滞在プランを実施する。
- ・当間高原リゾートベルナティオやHOME away from HOME Niigataなど地元のリゾートホテルや旅行会社などと協業し、既存来訪者及び新規来訪者獲得へのアプローチを行う。
- ・空き家／古民家のゲストハウス化を推進し農泊の取り組み軒数を増加させるとともに、隣接する当間高原リゾートとタイアップしてワーケーション需要を喚起する。
- ・棚田やその周辺環境をフィールドとしたイベント（棚田フェスや棚田ラグビー、農業体験など）を実施し、地域の取り組みとしての認知向上を図る。

イ 棚田を観光資源とした地域振興

- ・通常の棚田の維持だけでなく、先進団体から指導などを受け、古来の方法（馬耕など非機械化）で環境負荷の少ない農業を推進することで、環境や食に対して意識の高い層への参加を促す。
- ・棚田をお米を作る場としての価値だけではなく、トレッキングやサイクリング、イベント実施、宿泊などの各種プログラム、旅行の目的地などとしての場所にしていく。

ウ 棚田米等を活用した6次産業化の推進

- ・お米を直接売るだけでなく、地元の酒蔵や米菓メーカー、食品加工卸会社などと協働し、お米や山菜などの6次産業化を図る。

(2) 指定棚田地域振興活動の実施主体

上記(1)に掲げる指定棚田地域振興活動の実施主体は、主に下記5の指定棚田地域振興協議会の参加者である。

5 指定棚田地域振興協議会に参加する者の名称又は氏名

Mizusawa Rice Terrace Conferenceは十日町市、農業者、農業者団体、地域自治組織、地域住民、NPO法人、商業・観光業関係団体、一般住民団体で構成。

6 その他指定棚田地域振興活動に関し必要な事項